

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

(2) 事業所の所在地

福山市沖野上町4丁目14-17

(3) 業種

医療業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を基準年度とし、令和6年度から令和9年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

国立病院機構環境配慮の基本方針である下記に則り、当院においても同様に取り組んでいく。

- 省エネルギーの推進
- 省資源化の推進
- 廃棄物の適正管理・減量化の推進

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和元年度	令和5年度
二酸化炭素	4,951	5,165

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和元年度)	削減目標		目標年度 (令和9年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	4,951	1.0	50	4,901
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	4,951	1.0	50	4,901
温室効果ガス みなし排出量		—		4,901
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	1%	・冷暖房温度の適正管理 ・不要な照明、空調の停止を徹底する ・業務効率化による時間外勤務の削減
2			
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

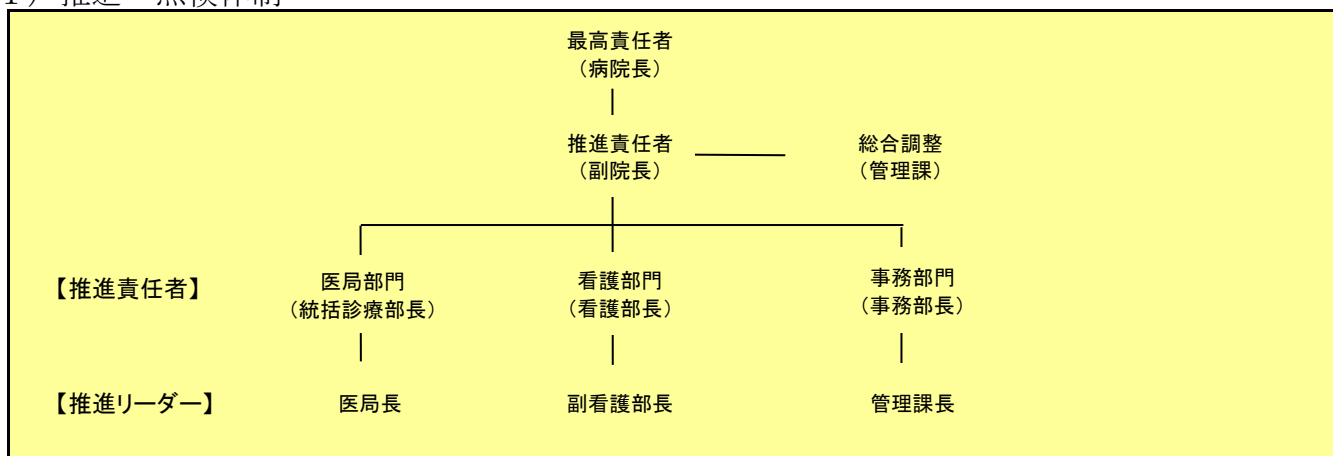
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	－	・事務用紙の両面コピー、裏面利用の励行 ・ごみの分別収集および資源化の徹底
2	自動車使用燃料の削減	－	・アイドリングストップの実施 ・定期的な点検と整備の実施
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

本計画の実施中、毎年度の報告に合わせて実施状況について調査を行い、その状況を踏まえた上で、必要に応じて本計画を見直すものとする。

(3) 計画書等の公表

独立行政法人国立病院機構の発行する環境報告書などにより公表する。